



エシカル消費って何？

このキーワードを意識しながら日々を過ごしてみると、世界の未来が変わります！

人・社会への配慮

- フェアトレード※
認証商品を選ぶ



※(生産者の暮らしの改善や自立の実現、環境保護を
目指し適正な価格で取引をすると認められた商品)

- 売上金の一部が
寄付につながる
商品を選ぶ



- 障がい者支援に
つながる商品を選ぶ



地域への配慮

- 被災地で作られた
商品を選ぶ



- 伝統工芸品を選ぶ



- 地産地消に
協力する



環境への配慮

- エコ商品を選ぶ



- 資源保護の
認証がある
商品を購入する



- マイボトルを
利用する



- 買い物のときに
マイバッグを使う



- 食品ロスを減らす



豊かさの背景にある課題

エシカル(ethical)とは、英語で「倫理的、道徳的」という意味です。私たち消費者が、エシカルな考えに基づいて行う消費行動のことを「エシカル消費」と呼んでいます。

私たちは普段買い物をする時に、商品の品質や価格などを基準に商品やサービスを選んでいきます。しかし、その商品は、誰がどこで作り、お店までどのように運ばれてきたか、さらに、地球環境にやさしいか、生産した人の暮らしを守って作られているか、などについて考えたことがありますか。商品やサービスを提供する人と消費

者とのつながりは複雑になり、消費者には豊かさを得るまでの背景がますます見えにくくなっています。

エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む、人・社会・地域・環境に配慮した消費行動です。

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、エシカル消費は特にゴール12「つくる責任 つかう責任」に関連する取組です。

誰もが思いやりを持った消費行動を心掛けて、商品が届くまでの背景や廃棄された後の影響を考え、そこにある課題を知り、その解決につながるようなモノやサービスを利用することが、私たちの役割だといえるでしょう。

みんなで行うエシカル消費

どのようなことに気をつけて、エシカル消費を行えばよいでしょうか。一人ひとりができるエシカル消費の例をご紹介します。

■人・社会への配慮

たとえば、衣類の材料となるコットン(綿)のように、私

たちの身の周りには商品が、原材料が作られ、加工され、私たちの手元に届くまでにたくさんの人が関わっています。原材料の多くを生産する発展途上国には、安い賃金で働いて、貧困に苦しむ人たちがいます。

人や社会に配慮された商品を見つけて、選んで購入することで、より多くの人々が持続可能な生活を送れるようになります。

■地域への配慮

日本には山、森、川、海といった豊かな自然や、多様な気候や地形があり、全国各地でその土地特有の産物が作られたり、様々な地域社会が育まれてたりしてきました。

地元の食材を選んだり、地元の商店で商品を購入したりすることは、地元を応援することにつながります。

■環境への配慮

大量生産・大量消費・大量廃棄によって地球温暖化や海洋汚染などが発生したり、エネルギー資源が減少したりしています。地球環境の現状や問題を見直すのではなく、身の回りのできることから行動しましょう。



CONTENTS

みらいへのキーワード
 エシカル消費って何? 01
 エシカル消費を促すアルミカップ 03

[特集] 街の音 癒しの音
 消音エレメント 05
 アルミ製吸音機能付仕上材 07
 ヴィブラフォン 09
 アルミ製ライト&スピーカー 11

ジャパネスク
 人力車 13



表紙の作品

スクラップ・アート サル「元」

使われなくなってしまった廃材に新たな命を吹き込む現代美術家・富田菜摘さんの作品。右目に自転車ベル、左目に電球の口金、口は給食のアルミ製食器、足の爪に飲料缶のタブなど、アルミニウムを使用。金属廃材が温かい生き物に生まれ変わっている。